

緑の相談所だより

[6月・7月号 ～ 1990・5・31発行～]



季節の花と花言葉



さくら



すみれ

すみれ・・・愛・誠実

紫色の小さなすみれは、世界中で愛されている花のひとつです。ほかの草の陰にひっそりと咲く、控えめな少女のようなこの花は、聖母マリアに捧げられ、誠実さの象徴になっています。

花言葉は、「愛」と「誠実」です。パンジーとともに愛を伝える贈り物としてぴったりでしょう。

行 * 事 * 案 * 内

< 講習会 >

ほろの町定 病虫予防除

7月15日(日曜日) / 午後1時～午後3時

講師:旭川市緑の相談所 村田正一 相談員

夏の手入れ (庭木)

8月5日(日曜日) / 午後1時～午後3時

講師:旭川市緑の相談所 小島博昭 相談員

< 山草栽培講座と展示会 >

展示会:6月16日(土曜日)17日(日曜日) / 午前9時～午後5時

栽培講座:6月17日(日曜日) / 午前10時～正午

講師:北海道山草趣味の会 清杉忠義

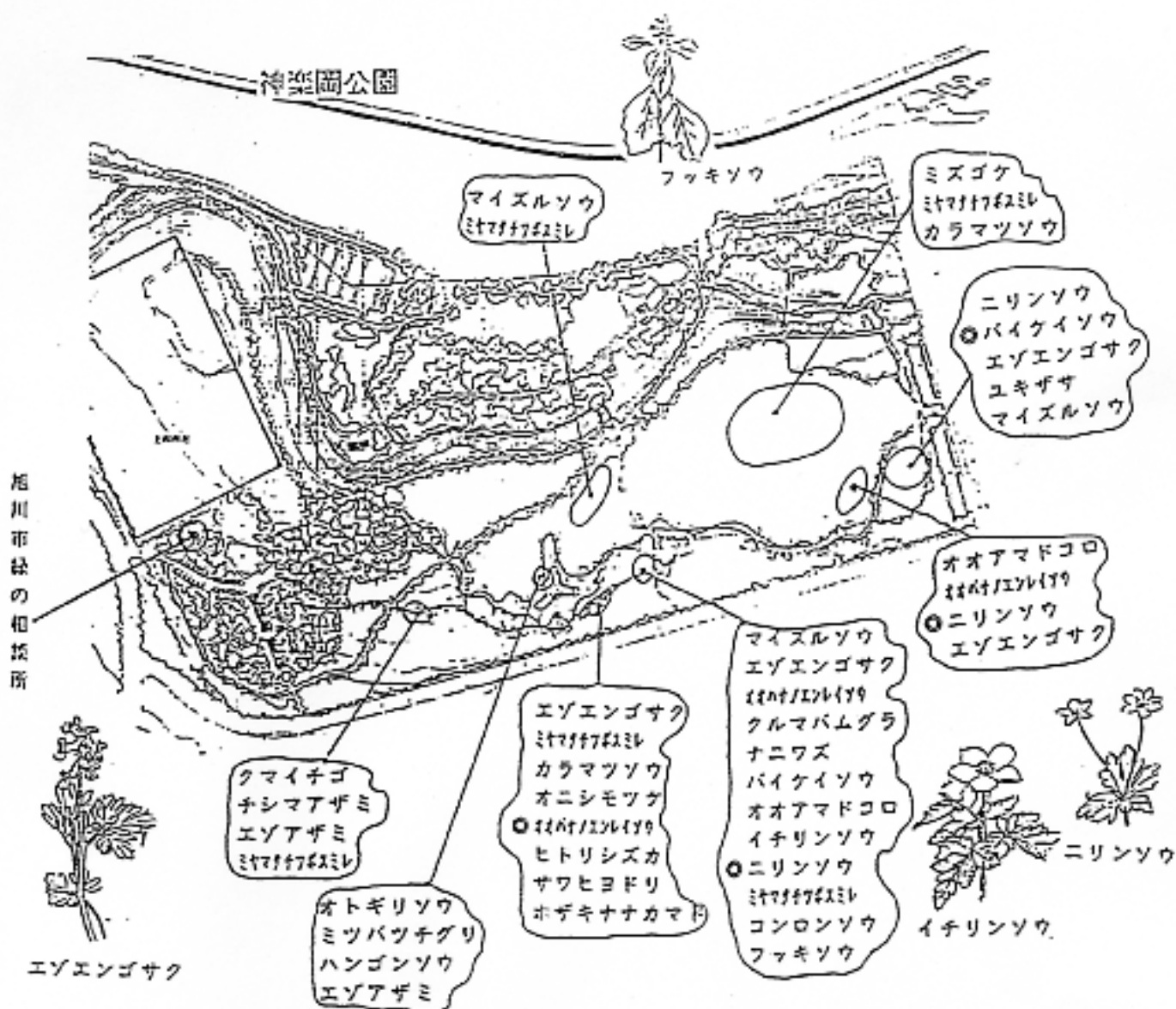
* いずれの行事も、一般市民の方の参加をお待ちしております。
お問い合わせ申し込みについては、旭川市緑の相談所 ☎ 65-5553 へ。

緑のセンター

う し て 公 園 楽 岡 神

神楽岡公園の中にあるサクラも咲き終わり、可愛らしい野草があちらこちらに咲き始め、その姿を楽しませてくれる季節になりました。エゾエンゴサクは盛りを過ぎてしまいましたが、フッキソウ、エンレイソウ、ヒトリシズカ、スマレなどはこの時期に多く見られるでしょう。

これからは散策路を歩くことが楽しくなる季節ですので、概略図(下図)を片手にゆっくりと森を楽しんでみてはいかがでしょうか!



6月は植え替えの適期

6月は気温も上がってくるので観葉植物などの植え替えに適した時期です。鉢物は植え替えをしてやらないと必ず具合が悪くなってきます。2～3年以上も植え替えをしてないものは新しい土で植え替えてやりましょう。

・ゴムノキ類（ゴムノキ、ベンジャミン、ガジュマルなど）・ドラセナ類（幸福の木外各種）・コルジリネ類・カボック・フェニックス類・その他いろいろ。

● 植え替えの仕方

- ①まず鉢から抜いて根の回りを3分の1くらい竹箸でくずし、根も切り詰めます。
- ②鉢はひとまわり大きい鉢を用いるといいのですが、ベンジャミンは枝を切り詰めるので鉢と木のバランスをとるために元の鉢にいれるといいでしょう。
- ③図のように土を入れ、竹箸のような棒を突き差し、左右に動かしながら根の間に丁寧に土を突き込みます。棒を上下に動かすと根に傷がつきます。
- ④深植え、浅植えにならないように元の表面まで土を入れます。土は鉢いっぱいに入れないで水しろを鉢の縁から3センチメートルくらい低くとります。
- ⑤植え終わったら底から流れ出る水が濁らなくなるまでたっぷりとやります。
- ⑥2～3週間は半日陰で風に当たらないようにし、水やりは過湿にしないよう与えます。肥料は3～4週間後から与えます。

● 根鉢のくずし方

養分や水分をよく吸収する細根が出てくる所は、よくほぐして根を更替する



根鉢の寸を目安にくずし、根を切り詰める

太い根は切り除く



根鉢の寸ぐらいを棒でくずす。特に上部には細い根が出てくるのでよくくずす



肥料が根に触れないように用土を入れる

1～2cm
粒を厚さ
7～10cm

緩効性の化成肥料(例・N・P・K=6-40-6)を、10号鉢で小さじ2杯、用土に混ぜて植えつける

● 植え土

赤玉土小粒か中粒5 腐葉土またはピートモス3 火山れき2くらいの割合で混ぜるとほとんどのものに使えます。

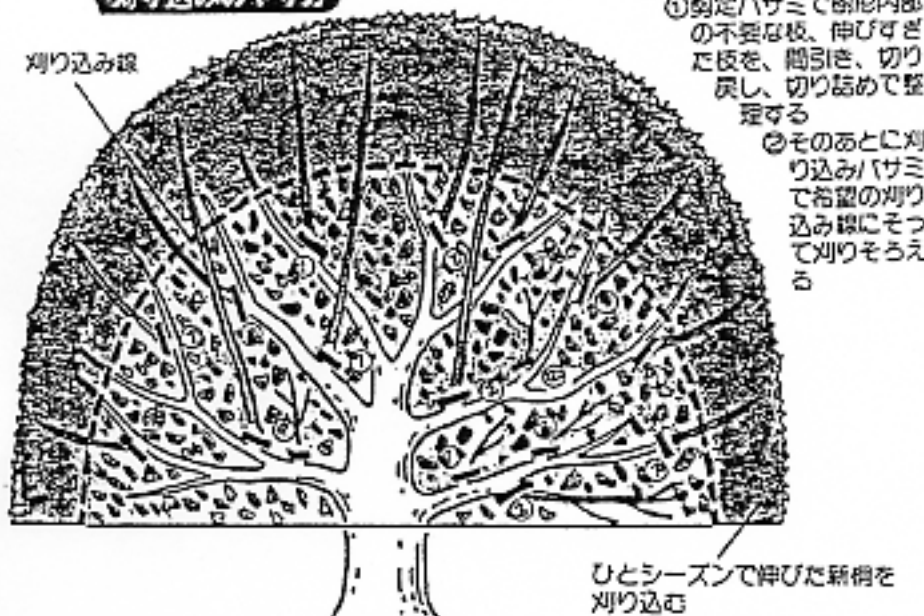
★クンシランの場合

- ①クンシランは、植え替えの1週間くらい前から水をやらないで乾かしておきます。
- ②根の土は、すっかり落とし、腐った根もきれいに取り除きます。
- ③鉢は、ほぐした根がやっと入るくらいの小さいものを用います。
- ④植え土は赤玉土の中粒3 れき中粒4 腐葉土3くらいの割合で混ぜるといいでしょう。
- ⑤植え方、後の管理は上と同じです。

◎ 庭木の整枝、剪定はなぜ必要なのだろうか。

庭木の美しさや、良好な成育をうながしたり、より花をつけさせ十分な観賞にあたいするようしたり、果実をたくさん実らせたり、その役割は大きくそれぞれの目的にあった整枝、剪定が大切であり、その基本となる手順は次の通りです。

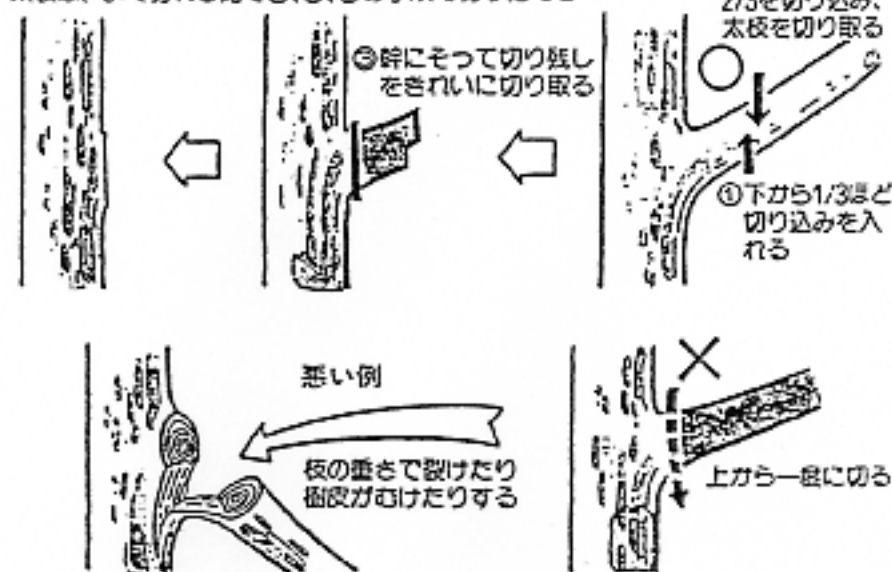
刈り込みのやり方



- ①剪定バサミで樹形内部の不要な枝、伸びすぎた枝を、間引き、切り戻し、切り詰めで整理する
- ②そのあとに刈り込みバサミで希望の刈り込み線にそって刈りそろえる

太枝の正しい切り方

太枝は、よく切れる所で①、②、③の手順で切り捨てる



- ②上から下へ切り2/3を切り込み、太枝を切り取る
- ①下から1/3ほど切り込みを入れる

悪い例

枝の重さで裂けたり樹皮がむけたりする

上から一気に切る

☆ 用土と水やり

用土で大切なのは通気性と保水性です。

植物は、土によって生育が影響されるし、鉢物の場合には特に水やりが重要なので水はけが良くても水もちの良い用土を使うことが鉢物を楽に管理するコツです。用土作りは大切なことです。

☆ 腐葉土とは

腐葉土は用土づくりには大切なものの一つです。腐葉土から生まれる腐植は各種の微量要素をバランスよく含んでおり土粒の団粒化を進める役割をしますので、水やりでくずれた団粒も腐葉土が混じっていると修復されるので、根は長生きします。